

令和3年度 シラバス

教科	家庭	科目	子ども文化	学年	第3学年	学科 類型	普通科文系 商業科
単位数	2単位	教科書	子ども文化（文部科学省）				
副教材							

学習目標	<p>児童文化の意義、子どもの心身の発達に及ぼす遊びの重要性、様々な子どもの表現活動の意義と児童文化財の重要性、児童文化施設などについて学びます。</p> <p>子どもの表現活動に必要な児童文化財の製作等の活動を通して、児童文化の充実を図る能力と実践的な態度を育てることを目標にしています。</p>
------	---

キャリア教育の視点	<p>子ども文化では、講義形式の授業だけでなく、保育実習や保育技術検定、児童文化財（絵本、おもちゃなど）の製作、地域の保育ボランティア活動等を数多く行います。それらの活動を通して、保育者として健康的な文化環境を与え、積極的に子どもと関わることのできる能力が身に付きます。</p>
-----------	---

		学習計画及び内容		考査
1 学 期	4月	第1章 子ども文化とは何だろう	<p>子どもの遊びの重要性及び遊びの種類と発達との関わりについて学びます。</p> <p>子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性について、保育実習や保育技術検定を通して学びます。</p>	期末考査
		第2章 子どもと遊び		
	5月	第3章 子どもと表現活動		
	6月	保育技術検定4級 (折り紙、歌唱、乳幼児の世話、絵本の読み聞かせ)		
	7月	保育技術検定3級 (折り紙と描画、ピアノ演奏と歌唱、衣服の着脱、紙芝居の実演)		
2 学 期	8月	運動会競技案 運動会競技練習	<p>保育園児を運動会に招待し、競技や踊り等を通して、子どもとの交流をします。</p> <p>絵本や紙芝居などの鑑賞や製作を通して、その大切さや効果について理解します。</p> <p>お話し会のためのプログラム（紙芝居、ペーパーアート、絵本等）を企画・立案・練習をします。</p>	期末考査
	9月	第4章 子どもと文学		
	10月	児童文化財製作		
	11月	お話し会プログラム制作 お話し会プログラム練習		
	12月	第5章 現代の子どもの生活と文化		
3 学 期	1月	第7章 子ども文化実習	2学期に企画・立案・練習をした「お話し会」を保育施設または学校で実施します。	

学習の方法	<p>講義、ワークシート、実習、体験的な活動、グループ活動、発表、プレゼンテーションソフトを用いた授業など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習します。</p> <p>また、全国高等学校家庭科保育技術検定3級取得を目指します。</p>
-------	---

評価の仕方	<p>定期考査、保育技術検定、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に考慮して評価します。</p>
-------	---

備考	<p>年間を通じて、保育施設での「キッズボランティア」を実施しています。</p>
----	--

